

2018年9月28日

乗り物のパーツによって構成された演奏装置「&Y03」を初披露

ヤマハ、ヤマハ発動機が合同デザインイベントを開催

両社がともに思い描く“理想の時間やシーン”を「Tracks」のテーマに込め、
デザインコンセプトモデルや製品展示、デモンストレーションを実施

ヤマハ株式会社

ヤマハ発動機株式会社

ヤマハ株式会社（以下、ヤマハ）とヤマハ発動機株式会社（以下、ヤマハ発動機）は、2018年10月12日（金）から10月14日（日）まで、六本木ヒルズ大屋根プラザにて、合同デザイン展「Yamaha Design Exhibition 2018 “Tracks”」を開催します。

ヤマハ、ヤマハ発動機はこれまでも、同じ「ヤマハ」ブランドを使用する企業としてデザインを共通テーマに様々な活動を行ってきました。中でも両社のデザイン部門が共同でコンセプトモデルのデザインを創作するプロジェクト「&Y（アンディ）」はシリーズ化され、これまで音を奏でる電動アシスト車いす「&Y01」や乗り物を体感できる音響装置「&Y02」を制作し、国内外のデザインイベント等で積極的に展開してきました。

3回目となる今回は、“Tracks”を展示コンセプトとし、乗り物のパーツによって構成された演奏装置「&Y03 eMotion Tracks」（以下「&Y03」）を初披露するほか、ヤマハ、ヤマハ発動機両社のコンセプトモデルや製品を計11点展示。また期間中、2017年東京モーターショーにて披露された自律走行するコンセプトモビリティ「MOTORoID」が、「&Y03」およびピアノ、ドラムの自動演奏と共演するデモンストレーションを初披露します。

なお、開催初日の10月12日（金）はヤマハ株式会社の設立日にあたります。今年から両ヤマハそれぞれの設立日^{*}を「Yamaha Day」とし、その前後で様々な活動を行っています。今回のイベントもその一つとして実施します。

^{*}ヤマハ発動機の設立日は7月1日です。

今後もヤマハおよびヤマハ発動機は両社共同で様々な活動を行なっていく予定です。



&Y03 eMotion Tracks



Yamaha Day のシンボル

<展示コンセプト「Tracks」（トラックス）について>



Track=軌道を意味し、“トラックレース”や“サウンドトラック”など、乗りものや音楽の世界でも広く使われます。今回の展示では両社にとっての“Tracks”を、轍（乗り物の軌道）や楽譜に象徴し、重なり織り交ぜあいながら、両社共通で思い描く理想の時間やシーンを表現します。

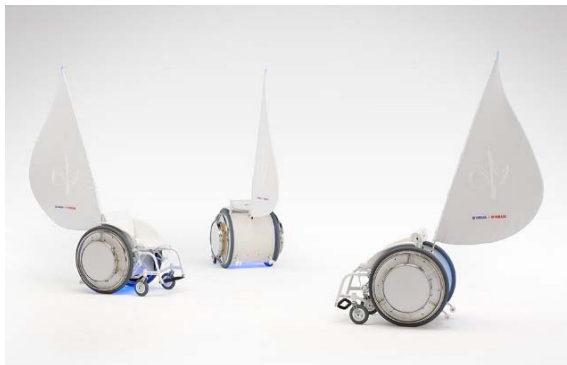
<乗り物のパーツによって構成された演奏装置「&Y03」について>

楽器や音響機器のデザインと、モーターサイクルなどモビリティのデザインが融合し得る可能性を探り、共通する“ヤマハらしさ”を体現する作品の創出を行うプロジェクト「&Y」による第3弾作品です。

この「&Y03」は、乗り物のパーツによって構成された演奏装置で、かつ会場展示全体との繋がりをコンセプトにした作品です。両社に通ずる、仲間とともに共通した時間・場所で道具を操る楽しみーアンサンブルする、グループツーリングするなどーを想起させる感覚を提供します。

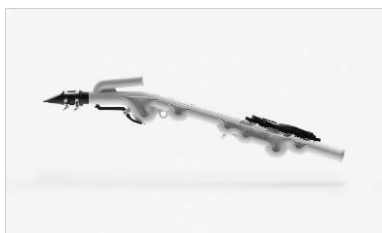
<ご参考 第1回、2回展示作品について>

左：音を奏でる電動アシスト車いす「&Y01」、右：乗り物を体感できる音響装置「&Y02」



<展示作品・製品のご紹介>

ヤマハ株式会社による展示製品



カジュアル管楽器 / Venova™

「2017 年度グッドデザイン賞」において最高賞「グッドデザイン大賞」を受賞。管楽器の本格的な演奏感や表現力を気軽かつ身近に楽しめる新しいアコースティック管楽器です。



自動演奏機能付きアコースティックピアノ / C3X-ENPRO

鍵盤やペダルの動きを正確に再現する自動演奏機能を搭載したハイブリッドピアノ「Disklavier™」（ディスクラビア）の新シリーズ。多彩な自動演奏コンテンツでリスニングの楽しみを広げます。



大人のピアニカ / P-37E

ヤマハが初めて大人のために企画・開発したピアニカ。落ち着いたカラーにシンプルなデザインと、アコーディオンを彷彿とさせるおしゃれで深みのある音色が特徴です。



エレクトリックアコースティックギター / LJX26C ARE

ギター製作の職人が長年培った技術と経験をもとに制作されている「Lシリーズ 26グレード」のカッタウェイモデル。ART ピックアップシステムを搭載し、ギター本体の豊かな胴鳴りを余すところなく伝えます。



アコースティックドラム / Absolute Hybrid Maple

「ハイブリッドシェル構造」が豊かな倍音と幅広い音調を実現。今回は、特殊な自動演奏装置を取り付けたコンセプトモデル※を展示し、“生音”での自動演奏を披露します。

※試奏は出来ません。

ヤマハ発動機株式会社による展示作品・製品



マリッジット / MJ-GP1800

「GP」シリーズの DNA を正統に受け継ぎ、3 人乗りモデルのマリッジット最速マシンとなって復活。絶対的な魅力である“速さ”に特化したモデルです。



スポーツ電動アシスト自転車 / YPJ-XC , YPJ-ER

走る楽しさを追求したスポーツモビリティ、YPJシリーズ。アシスト&ライドを楽しむタフモデル「YPJ-XC」と、ロングライド対応でロードバイクの可能性を広げる「YPJ-ER」。



電動アシスト自転車 / PAS Babby un

“ゴツカワ”（ごつくて可愛い）をキーワードにしたデザインと軽量コンパクトで扱いやすさにこだわったファミリーモデルです。



オートバイ / SR400

1978 年から長きに渡り培ってきた世界観・ブランドをこの先も残し受け継いでいくモデル。ヤマハスポーツヘリテージを代表する一台です。※40 周年モデルも展示します。



ROV / YXZ1000R

北米を中心に業務やレクリエーショナル、スポーツまで幅広い需要を持つ ROV（Recreational Off-highway Vehicle）のモデルです。



自律走行するコンセプトモビリティ / MOTOROiD

新しい感動体験の創出を目的に、知能化技術というインテリジェンスを用いて、「人とマシンが共響するパーソナルモビリティ」を目指す概念検証実験機です。

<「Yamaha Design Exhibition 2018 “Tracks”」概要>

- テーマ：Yamaha Design Exhibition 2018 “Tracks”
- 会期：2018年10月12日（金）～10月14日（日）
- 時間：11:00～19:00（12日（金）16:00～19:00はご招待者限定です）
- 会場：六本木ヒルズ 大屋根プラザ
- 入場：無料

■関連ウェブサイト：

ヤマハ株式会社

<日本語版サイト> https://www.yamaha.com/ja/about/design/events_topics/tracks2018/

ヤマハ発動機株式会社

<日本語版サイト> <http://global.yamaha-motor.com/jp/profile/design/events/tracks2018/>

<この件に関するお問い合わせ先>

■報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 メディアリレーショングループ

TEL：03-5488-6601

ヤマハ発動機株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

TEL：03-5220-7211

<関連リンク>

■「Yamaha Design」ヤマハ株式会社

<Global サイト> <https://www.yamaha.com/en/about/design/>

<日本語版サイト> <https://www.yamaha.com/ja/about/design/>

■「Yamaha Motor Design」ヤマハ発動機株式会社

<Global サイト> <http://global.yamaha-motor.com/about/design/>

<日本語版サイト> <http://global.yamaha-motor.com/jp/profile/design/>

※このニュースリリースに掲載されている製品情報や問い合わせ先などは、発表日現在の情報です。

発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。